

ホームページがリニューアルされました

平成25年5月、皆様により見やすく、より便利にご利用いただくために医療法人社団千寿会のホームページを全面的にリニューアルいたしました。看護部・リハビリ・検査部門・栄養部門など、当院の運営状況なども掲載いたしました。日々の行事や取り組み状況を掲載できるように「トピックス」欄も作成しています。求人情報も随時更新しています。当院の利用を考えている方など、ぜひご利用いただければと思います。

今後とも内容の充実をはかり、皆様のお役に立てるホームページになるように取り組んで参ります。

診療案内

	月	火	水	木	金	土
精神科	●	●	●	●	●	●
内科	●	●	●	●	●	●
心療内科					※● (月1回)	※● (月1回)
皮膚科					●	
泌尿器科			●			
眼科						※●

※ 心療内科・眼科については、予約制となっています。当院外来までお問い合わせ下さい。

外来無料送迎バスを運行しています

当院では、外来・デイケアを利用される患者様を対象に室蘭方面及び白老方面へ送迎バスを運行しております。

※運行日：月曜日～土曜日（日曜・祝日・開院記念日11月15日を除く）

※送りバス：

【月曜日～金曜日】

正面玄関前 11時00分 出発（室蘭方面幌別迄・白老方面萩野迄）

正面玄関前 12時00分 出発（室蘭方面東町迄・白老方面役場前迄）

【土曜日】

正面玄関前 11時30分 出発

（室蘭方面東町迄・白老方面役場前迄）

※デイケア：

帰りの送りは15時デイケア玄関前より出発します。

※当院ホームページにも詳しく掲載しておりますが、乗降場所や利用方法等、ご不明な点がございましたら当院スタッフまでお気軽にお問い合わせください。



病院理念

1. 精神障害者と高齢者を対象に、医療・保健・福祉のトータルケアを目指します。
1. 自然環境との調和を大切に「癒される」病院創りを目指します。
1. チーム医療により良質で高度な医療と地域に開かれた機能的病院を目指します。
1. 常に謙虚に患者様と御家族の気持ちを尊重し、心のこもった医療の提供を目指します。

基本方針

当病院は自然環境を生かし、アメニティの充実を図ると共に、精神科ではチーム医療における質の高い医療を追求しています。

法人グループの各施設がそれぞれの役割を担い、医療・保健・福祉における連携と人権を尊重し、患者様並びに御家族との相互理解を深め、地域のニーズに合った信頼される医療の提供をいたします。

患者の権利

- 一人の人間としての尊厳を尊重され、丁寧に敬意をもって扱われる権利を有する。
- 差別されることなく、公平かつ適切で良質な医療を継続して受けられる権利を有する。
- 医療に関する個人情報を保護されるとともに、私的なことに干渉されない権利を有する。
- 自己に関する医療行為や医療情報に関して十分な説明を受けることができ、その上で、治療方法に関して選択できる権利を有する。
- 医療費、公的援助に関する情報や説明を受けることができる権利を有する。
- 健康や病気、保健サービスなどについて教育を受ける権利を有する。
- 医療の充実・改善をはかるために、苦情や意見を申し立てることができる権利を有する。



特定医療法人
社 団 千 寿 会 三 愛 病 院

〒059-0493
北海道登別市中登別町24番地12
TEL (0143) 83-1111
FAX (0143) 83-1361

<直通TEL>

歯科口腔外科 83-3991
医療福祉相談室 83-3207
地域生活支援室 83-3572
精神科デイケア 83-2520

<URL>

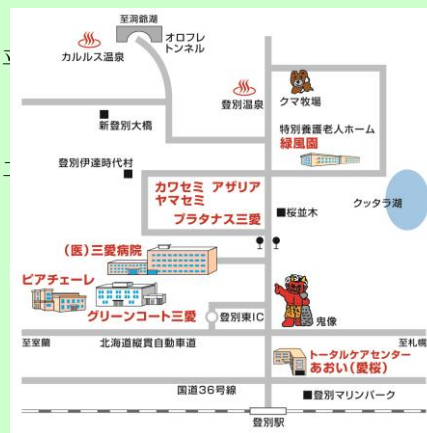
<http://www.sanai-hospital.or.jp>

<E-mail>

post@sanai-hospital.or.jp

<診療科目>

精神科・老年精神科・内科
老年内科・心療内科・消化器内科
皮膚科・リハビリテーション科
泌尿器科・眼科・漢方外来
歯科口腔外科・歯科



作成：三愛病院 広報委員会

特定医療法人社団千寿会 三愛病院 広報誌

2013年 8月

と お た る け あ



日本医療機能評価機構認定病院



登別市札内町にて撮影

サービスの質向上を目指して



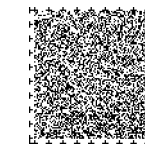
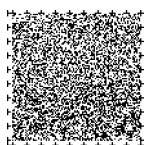
三愛病院 事務部
部長 齊木 敬

胆振・日高管内の病院、クリニック、介護施設の皆様、地域在住の皆様には日頃より当院業務にひとかたならぬご支援、ご指導を賜り厚く御礼申し上げます。

急速な高齢化、少子化社会を背景に診療報酬制度や介護保険法をはじめとする保健医療福祉制度もめまぐるしく改正されています。ヘルスケア・ニーズが多様化し、医療・介護職の役割、また社会が医療・介護職に寄せる期待も増大してきているように感じます。サービスにおいても質が高いだけでなく効率の良さも求められるようになりました。当法人 千寿会は、三愛病院を中心に老健施設、高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護施設、訪問看護、訪問介護、就労支援施設、

障がい者グループホームと多岐にわたり患者様のケアに努めております。これは「医療・保健・福祉のトータルケア」を法人理念とし、病院での治療から退院後の在宅ケアに至るまで多様なニーズにお応えできるようにという考えからであります。

当地域で必要とされる医療・介護の内容の検討、医療・介護の質の向上、スタッフの確保・教育といった重要な問題は数多くありますが、今後も様々な改善を行い、地域の皆様にとって安心してご利用いただける病院を目指していく所存でございます。地域の皆様はもとより、関係機関の皆様におかれましても、ご指導ご鞭撻をいただきますよう、よろしくお祈り申し上げます。



高齢者医療に積極的に取り組んでおります

認知症市民公開講座を開催しました

平成25年5月9日(木)、登別市民会館2F中ホールにて、「三愛病院 市民公開講座」を開催致しました。今回の市民公開講座は、当院が認可を受けている認知症疾患医療センターの取り組みの一つとして、認知症の普及啓発活動の一環として実施致しました。当日は、142名の方にご参加頂きました。千葉泰二院長が講師となり、「認知症について」という演題で講演を行いました。認知症の基礎知識から、BPSDと呼ばれる認知症の行動・心理状態に対する関わり方や介護の仕方について、具体例を用いて紹介させて頂き、実際に介護を行っている方にもすぐに実践できる内容になったかと思えます。今後は高齢社会が進み、認知症の方も介護する方も増えることが予想されます。三愛病院としても、高齢者保健・医療水準の向上と市民の皆さまの健康づくりに役立てられる様に、今後も普及啓発活動を続けていきたいと思っています。



認知症家族教室を開催しました

平成25年6月21日(金)、第3回 認知症家族教室を開催致しました。小規模多機能型居宅介護事業所みずばしょう・高齢者グループホームみずばしょう・プラタナス三愛 総合施設長の高嶋活哉が講師となり、「今、何に困っていますか? ・ともに暮らし続けるためのヒント!!」と題して事例を交えグループ形式で講義を行いました。参加者の方々から活発な質問や「想い」が飛び交い、実際の介護現場で抱えている苦悩を共有し、介護に対する考え方だけでなく、認知症の方の気持ちを理解し寄り添うことの大切さ等を議題とし、スタッフも一緒に考える機会になりました。今後も3か月に1度、次回は9月に家族教室を開催していく予定ですので、興味関心のある方はお気軽にお問い合わせください。



看護部便り

看護の日、小さな白衣の天使が舞い降りました

南4階病棟看護主任 名畑 学

平成25年5月14日(火)、登別市のショッピングセンター・アーニスにて看護の日のイベントで、血圧測定や体脂肪測定などの健康チェックや栄養相談、医療福祉・介護相談、ことぶき商事による介護用品の展示などを行いました。今回は、イベントブルゾンを作ったおかげでイベントに対してのアピールに大変効果があり、92名の方に参加して頂きました。15日に行われた院内会場では、職員のお子さんに書いてもらったお父さんやお母さんの似顔絵や保育園児によるプチナースの登場で会場に来ていた患者様やご家族のみなさん「かわいい」と大変喜ばれていました。このようなイベントを通じて地域の方や患者様・患者様のご家族に健康への関心を深めてもらうと共に、地域の方とのふれあいの場として、今後も継続して活動していきたいと思えます。



KYT(危険予知トレーニング)研修

リスクマネジメント委員会 委員長 西4階病棟看護師長 中村 和恵

リスクマネジメント委員会の主な活動は、インシデント・アクシデントレポートの集計と分析・対策、院内パトロール、医療安全行動の推進です。昨年からは委員会では勉強会を行い全部署で「KYT」(危険予知トレーニング)に取り組んでいます。「KYT」の目的はまだ実際には起きていないエラーや事故の可能性に気付く(予想する力、予測する力、予知する力)能力を身につけることです。リスクの把握や予防策・対処方法を共有し事故を未然に防ぐ効果があります。「健康問いかけKYT」はコミュニケーションに対してスキルアップ、「ワンポイントKYT」は日常業務などで、どんな所に危険が潜んでいるかを短時間で話し合い行動目標を共有する、「KYTカード」は手順などを自己チェックすることができます。看護部では毎月「KYT4ラウンド法」を使用した研修を行っています。今後も安心・安全な医療を提供できるようにさまざまなKYTを実施していきます。



多機関と交流しています

東邦大学(東京都)より医学部実習生を受け入れました

去る、6月18日～6月20日の3日間、ご縁があり東邦大学医学部の学生を招き「精神障害者及び高齢者を含めた認知症患者に対するトータルケアについて」をテーマに当院スタッフと一緒に考え、学ぶ機会を設けることができました。実習では当院内の医師業務や当法人の併設施設を見学して頂き、西胆振圏域の精神医療・地域医療連携の現状について担当者から説明を行い、理解を深めて頂きました。当院では、精神科医療の普及・発展の為、医学部の学生を始め、看護師、コメディカルスタッフの実習を積極的にお受させて頂いております。患者様への質の高い医療提供やチーム医療のあり方等、スタッフ一同、共に勉強する機会になっています。



福岡病院(福岡県)院内研究発表に参加しました

大きな歴史的な正門をくぐり抜けると、その先には広く緑が多い敷地内に個々の病棟が建て分けられている所が印象的でした。精神作業療法(OT)が充実され、救急病棟・デイケア・外来OT等で作業療法士はご活躍していました。研究発表と懇親会では、大変有意義に過ごすことができました。当院から遠く離れた九州で出会いと研修会に参加したことは、忘れられない思い出になっています。このような機会を与えて下さりありがとうございました。

作業療法士 菊地 妙子



研修報告について

第13回北海道病院学会の発表を終えて

本館2階病棟看護師 西川 将歩

平成25年6月30日(月)、札幌ロイトンホテルで行われた北海道病院学会で、自分たちの看護研究「ヤーコン茶における排便の有効性」を、他の病院の他職種の方々に向けて発表する機会を頂きました。院内で作成した看護研究に対して、院外の方々の違う視点から質問を受けたことや、会場の空気、周囲の反応を直接肌で感じることで、貴重な体験でした。また、多種にわたる研究を聞き、改めて自分達の研究の改善点も感じ、看護についての気づき、学びを深めることが出来ました。今後は今回の学びを日々の看護に活かし、患者様の求めるニーズの充足と、自分が出来る事を精一杯考えた看護を行っていきたく思っております。



日本作業療法学会に参加しました

作業療法士 駿河 勇太

平成25年6月28日(月)～30日(水)、大阪国際会議場にて開催された、日本作業療法学会に参加致しました。「地域に暮らす～生活を支える作業療法」の学会テーマのもと、学会長講演「障がい者の自立支援」、特別講演「医療と福祉の連携」、国際シンポジウム、市民講座12テーマにのぼるシンポジウムから「うつ作業療法」「認知症の作業療法」「脳機能からみた精神障害～社会的認知から精神障害と高次脳機能を俯瞰する～」急性期から地域につなぐ作業療法」「就労支援」等が企画され、作業療法が幅広く語られました。病気の治療～回復～社会復帰のプロセスをはじめ、医療・福祉・地域へと繋げるために必要な地域社会の在り方など、現場で対象者を支援する上で必要な知識を学ぶ機会が得られました。今後、業務に生かせるよう日々精進していきたいと思えます。



トピックス

三愛ピアノコンサートを開催しました

平成25年6月13日(木)、入院患者様を対象に、気分転換と楽しいひと時をお過ごし頂く為、実力派シンガー Atsukoさんとピアニストの神原希未さんをお招きし、ピアノコンサートを企画しました。当日は約100名の入院患者様が参加し、「花は咲く」「愛燦々」などの歌謡曲やクラシック曲を含め10曲を披露して頂きました。「星影のワルツ」など合同合唱もあり、ピアノに合わせて手拍子や大きな声で唄う様子もあり、楽しい時間を過ごすことが出来ました。今後は患者様のアメニティの充実を意識した療養環境を考え、様々な催し物を用意し快適な入院生活をお過ごし頂けるように努めて参ります。

